

東地区中学校統合の統合状況等に関するアンケート調査結果について

～翔陽中学校（旧帯広第三・旧帯広第六中学校）～

帯広市教育委員会は、少子化の進展による将来的な児童生徒数の減少に対応し、充実した教育環境を確保するため、「帯広市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」（平成18年9月20日決定）を策定しました。

基本方針では、一定の児童生徒数や学級数を確保し、活力ある学校づくりを目指すため、小中学校配置の将来方向と適正配置の実施時期を示した「帯広市立小中学校適正配置計画」を定めています。

この配置計画に基づき、平成19年9月に「東地区中学校適正配置実施計画」を決定し、帯広第三中学校と帯広第六中学校を閉校、平成23年4月1日に帯広第三中学校校舎を活用した統合新校「翔陽中学校」を開校いたしました。

帯広市教育委員会では、開校した「翔陽中学校」の統合後の1年を振り返り、子どもたちの様子や教育活動の状況を把握し、今後の学校運営や学校適正配置の取り組みの参考とするためアンケート調査を実施しました。

調査の概要

- ・ 調査対象 平成23年度翔陽中学校の全生徒（548名）
保護者（501名）
教職員（37名）
- ・ 調査方法 無記名アンケート方式、学校を通じて調査票を配布・回収
- ・ 調査期間 平成24年2月17日（金）～ 2月24日（金）

・ 回収数、回収率

		配布数	回収数	回収率
生徒		548	404	73.7%
内 訳	中学1年生	195	170	87.2%
	中学2年生	177	141	79.7%
	中学3年生	176	93	52.8%
保護者		501	286	57.1%
教職員		37	21	56.8%
合計		1,086	711	65.5%

平成24年7月
帯広市教育委員会

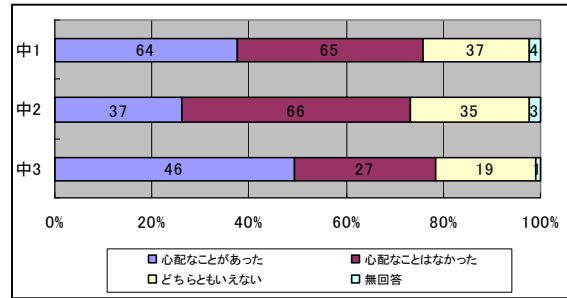
生徒アンケート結果

Q 入学する（統合する）前に心配なことがありましたか

（グラフ内の数値は回答数）

1年生と3年生が「心配なことがあった」と答えた割合が高くなっています。特に小規模小学校（東小、帯小）出身者や学校を移動する六中出身者に「心配なことがあった」と答えた割合が高くなっています。

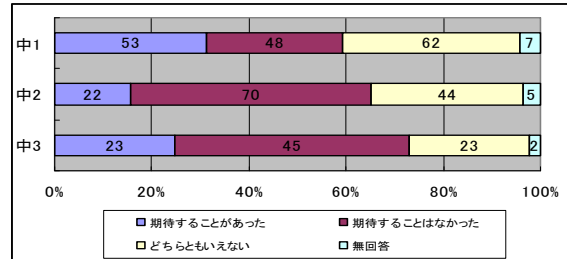
各学年を通して「心配なこと」の意見として友人関係が最も多く挙げられています。



Q 入学する（統合する）前に期待することがありましたか

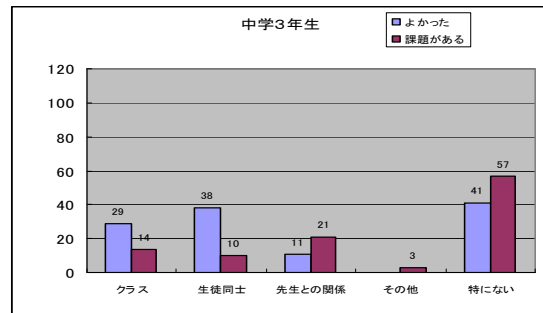
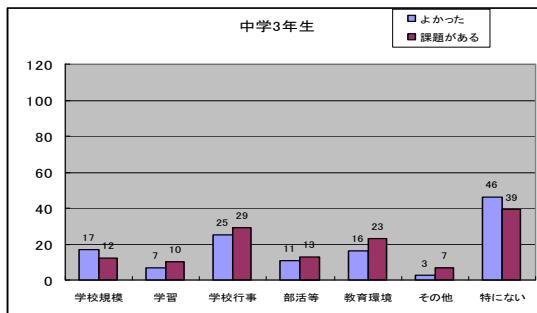
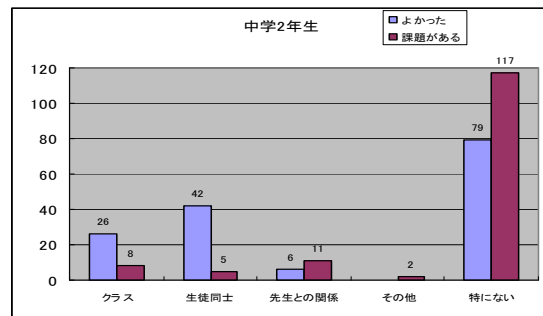
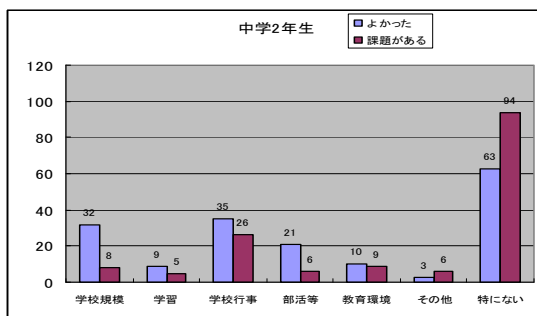
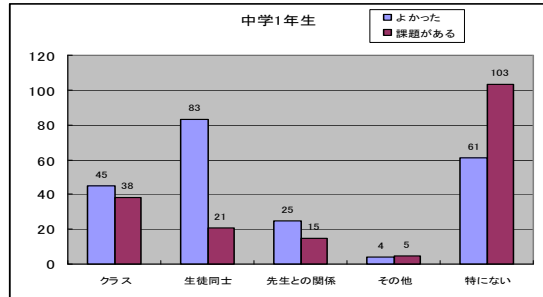
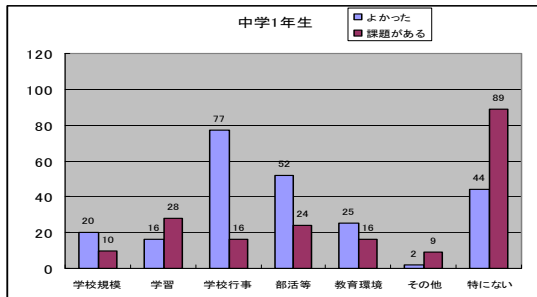
2年生、3年生は「期待することはなかった」と答えた割合が一番高くなっています。特に六中出身者は50%を超えています。

「期待すること」の意見として友人関係や部活動、環境変化などが挙げられています。



Q 入学して（統合して）よかったと思うことや課題があると思うことは何ですか

統合して「良かった」と思うことは、各学年とも「学校規模」、「学校行事」、「生徒同士の関係」とする回答数が多くなっています。「課題がある」と思うことは「特にない」とする回答数が多くなっています。



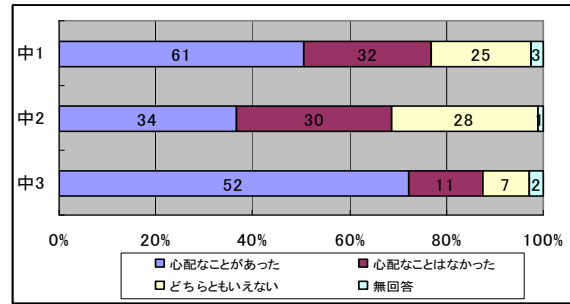
保護者アンケート結果

Q 入学する（統合する）前に心配なことがありましたか

（グラフ内の数値は回答数）

保護者全体で「心配なことがあった」と答えた割合が51.4%となっています。特に3年生保護者と1年生保護者のうち小規模小学校出身保護者の「心配なことがあった」と答えた割合が高くなっています。

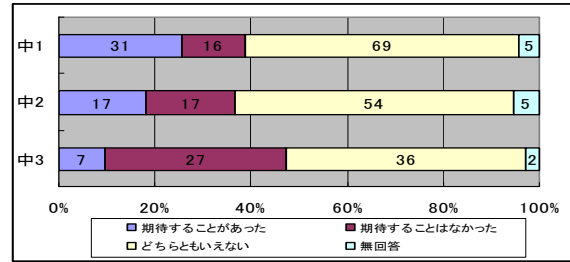
「心配なこと」の意見として、新しい学校になじめるか、人数が増えるなど環境が変わることへの不安が多く挙げられています。



Q 入学する（統合する）前に期待することがありましたか

「どちらともいえない」と答える割合がいずれの学年も50%を超えています。1年生保護者の「期待することがあった」、3年生保護者の「期待することはなかった」と答える割合も高くなっています。

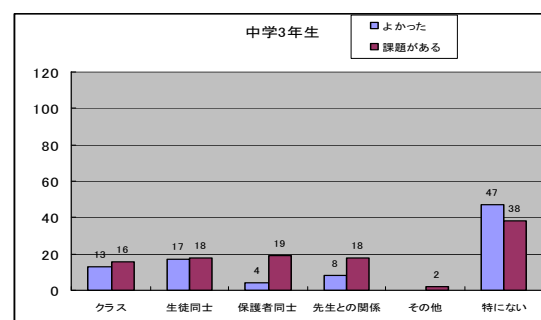
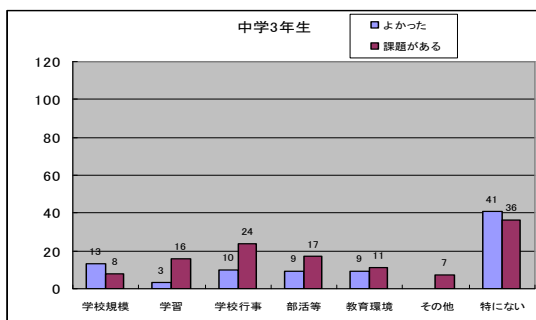
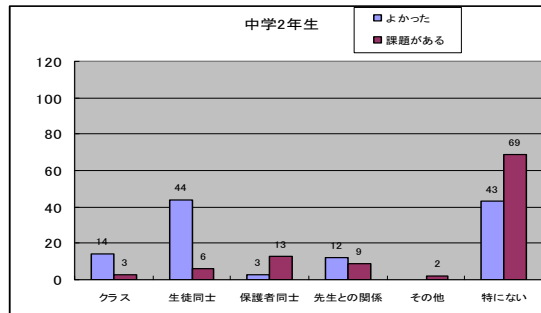
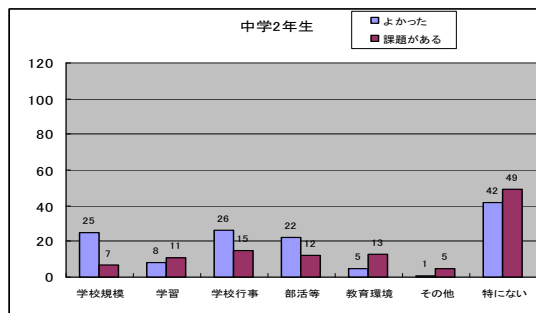
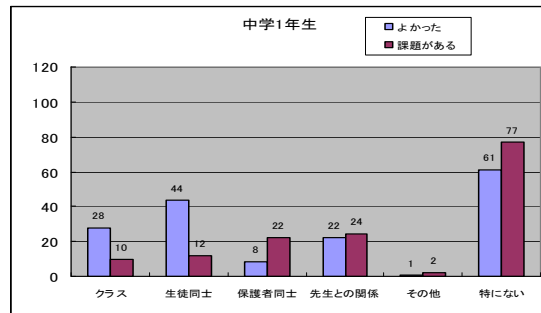
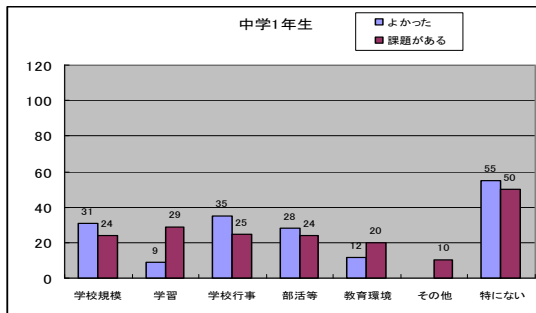
「期待すること」の意見として、友人関係や部活動に関する意見が寄せられています。



Q 入学して（統合して）よかったと思うことや課題があると思うことは何ですか

統合して「よかった」、「課題がある」と思うことは「特になし」とする回答数が多くなっています。「生徒同士の関係」は「よかった」が、「保護者同士の関係」「教職員との関係」については「課題がある」とする回答が多くなっています。

主な意見では、人数が増えることによる課題解消に向けた意見が多く挙げられています。

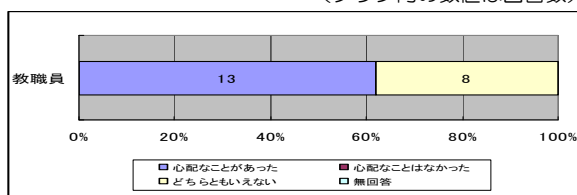


教職員アンケート結果概要

Q 統合する前に心配なことがありましたか

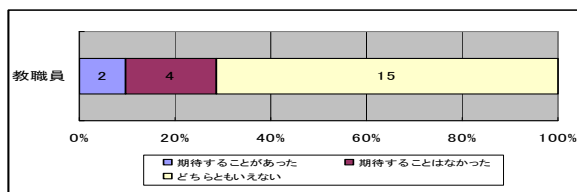
(グラフ内の数値は回答数)

「心配なことがあった」と答えた割合が61.9%となっています。「心配なこと」の意見として環境変化による生徒、地域、保護者との関係が挙げられています。



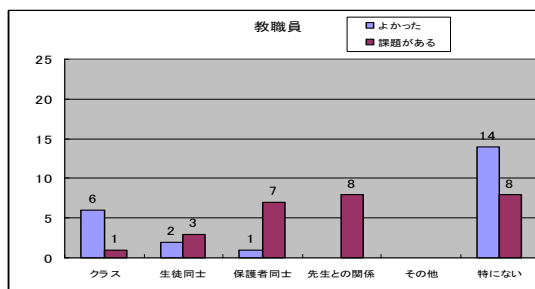
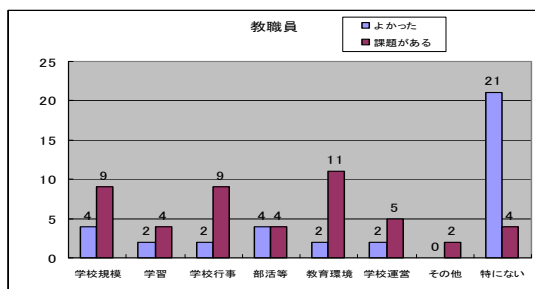
Q 統合する前に期待することがありましたか

「どちらともいえない」と回答する割合が71.4%となっています。三中出身教職員は、「期待することはなかった」と「どちらともいえない」に二分されています。



Q 統合してよかったと思うことや課題があると思うことは何ですか

「教育環境」や「教職員同士の関係」について「課題がある」とする回答数が多くなっており、複数校から集まり新たな方針作りから進めていることから、話し合う時間の確保や指導方針の徹底など統合に向けた環境整備の難しさが理由として挙げられています。



自由意見（抜粋）

- 統合について (58件)
 - ・統合は仕方がないと思うが、統合前に生徒や保護者、地域の声をできるだけ聞いてほしい。(生徒)
 - ・翔陽中のカラーは、今の1年生が3年生になったときにできるのではないか。(保護者)
 - ・統合はどんなに用意周到でも抜け落ちや不平不満が出てくるので、できる限り条件を整える必要がある。(教職員)
- 学校環境について (38件)
 - ・統合によって学校までの距離が遠くなった人が多くいるのが難点。(生徒)
 - ・子どもの人数のわりに部活動の選択肢が少ない。(保護者)
 - ・統合時の教職員の配置は早めに発表し、話し合いを持ってスタートするべき。(教職員)
- 人間関係について (12件)
 - ・統合前に2校間の交流が少なかった。(生徒)
 - ・2・3年生には出身校間の隔たりが感じられるが、1年目は仕方がないと思う。(保護者)
- 学校施設について (10件)
 - ・学校は狭くなり、自動ドアは無駄だと思う。(生徒)
 - ・統合を決めたからには世帯数の増加に併せて駐車場の確保をしておくべきだった。(保護者)
- 規模拡大について (9件)
 - ・最初は戸惑いが多いので各クラスの人数は少な目がいいと思う。(生徒)
 - ・統合は仕方がないが、小さな学校のほうが子どもたちに目が行き届き、保護者同士の顔が覚えられる。(保護者)
- その他 (22件)
 - ・子どもたちには順応性があるので保護者をもっと信用してあげるべきだ。(保護者)
 - ・もっと幅広く意見を聞いてすすめるべき。(保護者)

アンケート全体を通して

- 生徒アンケートでは、統合前の不安感について、「心配なことがあった」と「心配なことはなかった」とがいずれも4割近くとなっており、意見が二分していることがうかがえます。
「心配なことがあった」要因として1年生の中学校進学や3年生の受験などが考えられますが、主な意見から、学校統合による規模拡大や環境変化によって「友達ができるか」などの人間関係に関する心配が学年を問わず多くなっていることから、不安を抱えていたこともうかがえます。
- また、学校統合への期待感を見ると、2年生と3年生では「期待することはなかった」が5割近くを占め、特に学校を移動する六中出身者にその傾向が見られます。統合して「良かった」と思うことに「学校規模」と「学校行事」と回答する割合が高くなっており、「課題がある」と思うことも「特にない」と回答する割合が高く、統合によって生徒が増えたことを肯定的に捉えられていることがうかがえます。
- さらに、自由意見からも、「3年生でのクラス替え」や「通学が遠くなる」など統合に否定的な意見も見られましたが、統合したことによって、「友人関係が広がった」、「学校行事が楽しくなった」、「クラブ活動が活性化した」など肯定的に捉えた意見が多く寄せられています。
- 保護者アンケートでは、生徒よりも不安感が高く、期待感が低い傾向にあります。特に3年生保護者と小規模小学校出身保護者に「心配なことがあった」と回答する割合が非常に高くなっており、生徒同様に受験や中学校への進学による不安感の要因であることがうかがえます。
- また、「課題がある」としたことに「保護者同士の関係」や「教職員との関係」と回答する割合が高くなっていることから、統合によって人数が増えることによる人間関係の難しさがうかがえます。
- さらに、自由意見では、校区が広がり家庭数が増えたことによる駐車場の確保や施設整備について厳しい意見が寄せられています。新しい学校に対する期待や学校づくりへの提言なども多く寄せられています。
- 教職員アンケートでは、「心配なことがあった」と回答する割合が6割を超えており、主な意見からも環境変化による生徒、地域、保護者との関係に不安を抱いていたことがうかがえます。
- また、「教職員同士の関係」について「課題がある」と回答した割合が高くなっており、複数校から集まり新たな方針作りから進めていることから、話し合う時間の確保や指導方針の徹底など統合に向けた環境整備の難しさについての意見が寄せられています。
- さらに、自由意見では、より良い学校づくりのため連携や学校基盤の重要性についてなど、今後の統廃合に向けた意見が寄せられています。
- 旧第三中学校関係者から、統合への準備作業や校舎増改築など工事騒音など長期にわたって様々な制約や影響を受けていた意見が寄せられています。
- 旧第六中学校関係者から、通学路の変更、吸収される意識や母校がなくなる寂しさが強く感じられる意見が寄せられています。



翔陽中学校関係者の皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。

このアンケートは1年を経過した感想が中心となっています。今回アンケートを通して寄せられた意見や統合による心情変化、課題、改善点などとともに、今後も翔陽中学校の歴史づくりや新たな校風づくりに頑張っている在校生や教職員を対象に継続した調査を実施し、学校運営や適正配置に役立ててまいります。

(アンケートに関するお問合せ先)

帯広市教育委員会 学校教育部 企画総務課

住所 〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1 電話 0155-65-4202 FAX0155-23-0161

Email : school_general@city.obihoro.hokkaido.jp

HP <http://www.city.obihoro.hokkaido.jp>